

前に進める

犬山だより

犬山市長

原よしのぶ

2号



政策実現のために

犬山だより2号を執筆している今、犬山市議会2月定例議会の会期中です。また、今月号の特集で、施政方針を掲載させていただいています。そこで、施政方針の政策実現までの流れや犬山市議会と市長の役割・関係について記します。

【市政運営は…】

市役所は、市民の生活に密着し守る仕事をしています。そのため、みなさんの想いが、反映されなければなりません。しかし全ての市民が参加して、市政運営をするこ

とは難しいことで、市民の代表である市議会や市長が中心となって犬山市政を運営しています。

【市議会と市長の役割】

市長は、みなさんが真ん中にいる「やさしく」「げんきな」まちで、ずっと住み続けたい・これから住みたいとっていただける持続可能な犬山づくりを進めるために、政策実現への想いを込めた予算や条例を提案します。

一方、市議会は市政を監視しチェックするとともに、議会へみなさんの声を届けながら、政策提言と政策立案を行い、問題解決を図るため、市政の方針を決定する役割を担います。そして、市長は市議会の決定に沿って施策を実行します。

【市議会と市長の関係】

これまでお示してきた通り、政策実現という想いを形に変える

ためには、議会との議論や対話は不可欠であり、議決された結果とともに、そのプロセスを大切にしていかなければなりません。特に犬山市議会は、市民のための議会改革を実践し、積極的な議員提案を重ねるなど、これからのあるべき議会の姿勢を示す議会活動の先進的存在です。そのような市議会と切磋琢磨・協力しつつ、犬山市の未来のため、市民のための政策実現の努力を重ねていきます。

また、市長としてみなさんの想いと考えに寄り添って、具体的な行動につなげることが大切です。政策実現のためには、強い意志を持って判断・実行し成果につなげていかなければなりません。それが市長の役割です。

犬山市を一步ずつ確実に進めていきます。